



消防団装備を“人力”から“電動”へ 少人数でも動ける電動台車で、災害対応力を底上げ

豊中市は、地域防災を担う消防団の災害対応力を強化するため、小型動力ポンプ更新に合わせ、電動台車付き小型動力ポンプ11台を導入しました。これにより従来の「人力による搬送」を前提とした装備から、少人数でも機動的に活動できる体制へと転換します。

全国で密集市街地での火災や大規模自然災害が相次ぐ中、消防団の重要性は高まっています。一方で、消防団員の高齢化や新規入団者の減少は全国共通の課題です。限られた人員で、いかに安全かつ機動的に活動を継続できるかが重要です。

今回導入した電動台車は、操作する団員の年齢や性別に左右されず、少人数・省力での運用が可能です。消火活動にとどまらず、土のうやホース、がれきの搬送などにも活用でき、風水害や地震など多様な災害への対応力向上が期待されます。今後は、運用を通じて装備の有効性を検証しながら、消防団活動の省力化・安全性の向上を図り、将来にわたって地域防災力を維持・強化していきます。



導入した11台の電動台車



【報道機関からの問い合わせ先】

消防局 消防総務課 消防団係

担当：永田・日浅

電話：06-6846-8409

メール：syouboudan@city.toyonaka.osaka.jp